

え

が

お

発行所:松戸市東平賀 7 番地の 2 TEL:047-346-0866 FAX:047-346-0088 E-mail:fnm2011@r4.dion.ne.jp

2013 支え合い助け合いで希望の年へ



2012 年 10 月、東日本大震災復興支援活動として、宮城県東松島市ひびき工業団地仮設住宅集会室を会場に「歌声喫茶」を開催(左から島田喜七代表、会員の音楽家竹内恵里さん・みんなんちスタッフ西村泰久さん)。

「困ったときはお互いさま」の精神を発揮して

代表 島田 喜七

新年明けましておめでとーございます。

皆さまは、新しい年をどのように迎えられるでしょうか。

新しい年を迎えるに当たり、ふれあいネットまつどにとって画期的な年であった昨年、2012年を思い返しますと、

昨年は設立15周年と認定NPOの年でした。その記念事業として、5月に常設型のコミュニティカフェ「ふれあいの居場所みんなんち」を開設し、11月には市民講演会・祝賀会を開催しました。これを記念した寄附金運動にも多くのみなさまのご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

思い返せば、私がふれあいネットまつどと出会ったのは、2000年のこと、私が所有していた福祉車両の有効活用先を探していた折のことです。この2年前1998年に設立したばかりの初々しい時期でした。それから15年。困ったときはお互い様の助け合いの精神で、助け合い活動と支え合い・助け合いのある地域社会づくり活動に取り組んでまいりました。

認定NPO法人についても、国税庁の審査官お二人が、事務所を訪れ朝9時から夕方5時まで数多の帳票をチェックされた折には、何とも厳しいものだと思いました。その厳しい審査を経て、全国4万6千余のNPOのうち253番目というのは、誇りであると同時にその社会的責任感に身の引き締まる思いを致したのも正直なところではあります。ますます公益に資する活動に傾注していかねばならないと決意した次第です。

来し方15年を思い、これからの活動を展望します時、胸に去来するのは、感謝と責任の4文字です。

本年も、「困ったときはお互いさま」の助け合いの精神を発揮して、支え合い・助け合いの活動に取り組んでまいる所存です。皆さまのご支援・協力をお願い申し上げます。

特集 設立15周年・認定NPO法人記念 市民講演会 & 祝賀会開催



会場満員になるほどの動員数。堀田先生への質問もありました。

雨の降る中、会場の大教室には新松戸地区の住民を中心に松戸市民200名が来場。最初に佐久間副代表が主催者挨拶・ふれあいネットまつどの紹介をしました。

堀田先生は、講演の中で「ギスギスした社会になってしまったのは、昔は大家族で近隣住民が助け合ひの当たり前だったが、現在は核家族世帯が多く、近隣住民にどういふ人が住んでいるか分から

堀田力さん市民講演会 「幸せな街づくり生きがいのある街づくりを」

ふれあいネットまつどは2012年で設立15年を迎えました。2012年11月17日(土)、流通経済大学新松戸キャンパスを会場に設立15周年・認定NPO法人を記念し、市民講演会と祝賀会を開催しました。講演会ではさわやか福祉財団の堀田力理事長をお招きして、「幸せな街づくり生きがいのある街づくりを」テーマに講演していただき、記念祝賀会では15年の活動の振り返りスライドショー、お楽しみ会など、終始なごやかな会となりました。



さわやか福祉財団の堀田先生

ない状況であるのが原因であり、だからこそ今の時代にふさわしい支え合い・助け合い・ふれあいが大切で」と強調。介護保険ではできることが限られるので、本当に困っている人に対しての援助にはNPOによるたすけあい活動が重要だと話されました。

堀田先生の時折ユーモアを交えた講演は、参加者アンケートでも大好評でした。

記念祝賀会

講演会後、同じ流通経済大学新松戸キャンパス食堂を会場に、記念祝賀会を開催。会場となった大学食堂には、会員・招待客80名が揃いました。被災地の宮城県東松島市ひびき工業団地仮設住宅の三浦慶子様をはじめご来賓6名よりご祝辞をいただき、NPO法人市民助け合いネットの片岡興一代表ご発声で乾杯。和やかに歓談しました。

奥田副代表による15年を振り返るスライドショー、お楽しみ会として村上建一さんによる腹話術、竹内恵里さんによるピアノ演奏など盛り沢山。また、記念品として会員の西村泰久さん手作りのパウンドケーキも用意され、終始和やかな祝賀会になりました。



島田代表の挨拶を代読する奥田副代表



竹内恵里さんのピアノ演奏。最後には「花は咲く」を合唱しました。



司会の佐久間副代表



村上建一さんの腹話術



祝賀会会場



招待客・会員と一緒に集合写真

ふれあいネットまつど初の福祉車両「島田車」の軌跡

読者のみなさんは、ふれあいネットまつどが何台の福祉車両を所有しているかご存知でしょうか。日本テレビ24時間TVより寄贈された愛称「日テレ車」、日本財団より助成された愛称「えがお号」、島田喜七代表より寄贈された愛称「島田車」の3台です。

この島田車が2012年11月にひっそりと引退をしました。そこで、ふれあいネットまつど初の福祉車両として活躍した島田車の軌跡を振り返ってみました。

島田車が、ふれあいネットまつどと関わりを持ったのは2000年のこと。会員持込のセダン型車両のみで移動サービスを行っていた当時、車椅子ごと乗れる福祉車両の整備が喫緊の課題でした。そこへ、福祉車両を自分の代わりにボランティアさせたという島田さんからの申し出は、願ってもない朗報でした。

それから15年、最古参の福祉車両島田車は移動サービスに研修会に、業務にと大活躍(写真参照)。

2011年4月には、東日本大震災復興支援として被災地宮城県県のNPOに車ごとボランティア派遣されることに。島田代表の「私も被災地で活動したいが、こういう身体だから代わりに島田車だけでも行つて活躍して欲しい」という願いからのこと。同年8月には、東日本大震災復興支援活動に出かけた会員と現地地で再会をしました。

しかし、寄る年波には勝てず、引退ということに。「ありがと島田車」「さようなら島田車」という多くの会員の言葉に送られて。

2011年4月被災地宮城へ出発。出発式を開催。



2011年8月5日 支援活動に参加した会員と再会する島田車



会員研修会で活躍する島田車



宮城への出発にあたり、福祉車両の操作について島田代表より説明を受けるボランティアさんと島田車



2011年5月被災地仙石線沿線に行く島田車

2011/5/5



福祉有償運送運転者講習会で介助の演習、福祉車両の操作を学ぶ受講生と島田車

さよなら島田車

ありがと島田車

2012年 東日本大震災復興支援 ふれあいネットまつどの取り組み

ふれあいネットまつどは、2011年3月の発災以降、「困ったときはお互いさま」の精神で東日本大震災復興支援活動に取り組んできました。2012年もピンポイントに①宮城県東松島市ひびき工業団地仮設住宅（240戸）②福島第1原発事故で松戸市内へ避難している方への支援活動を多くの市民・団体と力を合わせて行いました。



3月 松戸駅西口デッキで「夢ハンカチ」イベント

2月 ボランティア参加者を招きパラソル懇談会



リフト付大型バスへ
乗車する島田代表



4月 2012年最初のパラソル喫茶

5月 リフト付バスで一泊二日
ボランティアバスツアー
福島花見山・宮城東松島



福島花見山へ支援金贈呈。佐久間副
代ら高橋代表へ



8 月 夏休み松戸・東松島子ども交流プロジェクト
宮城県東松島市仮設住宅の子どもたちを TDL へ招待



9 月 福島から松戸市内への避難者交流会



NHK 首都圏ニュースで報道される

8 月 ふれあい夏祭り売り上げを支援募金に



11 月 福島からの避難者と松戸めぐりツアー



12 月

東松島市ひびき仮設の子どもたち
クリスマスケーキ作りを楽しむ



10 月

一泊二日ボランティアバスツアー
宮城県石巻市被災地～
東松島市仮設住宅へ



ふれあいの居場所 みんなんち

あけましておめでとうございます。

ふれあいの居場所『みんなんちは』は今年初めての新年を迎えることが出来しました。改めて、ボランティアのみな様、支えていただきました地域の方々に御礼申し上げます。

ふれあい喫茶

地域交流の居場所

ふれあいの居場所『みんなんち』はオープンして6ヶ月、オープン当初は不安ばかりで会員の顔や名前も分からずボランティアは右往左往でしたが、失敗や経験を重ね、多くの方からアドバイスを受けながら、ようやく半年を迎えることができました。今では、会員外の地域の方々にみんなんちの手助けをして頂いたり、趣味の講座に参加された方々のふれあいが生まれたり、スーパードのお買いもの帰りに休憩で立ち寄っていただいたりと多くの方に利用していただいています。

趣味の講座

学ぶ大切さを体験

毎週火曜日に開催してきたみんなんちの趣味の講座は、同じ趣味を楽しみながら交流を深めて頂く場所です。講座の参加者は会を増すことに多くなり、参加者同士の交流も始まり新しい輪が広がってきています。

本年も「折り紙教室」「パルンアート」「絵手紙教室」「お茶の文化を学ぶ」「クリニカルアート」「お菓子教室」など開催していきます。

ミディ「まてばしい」

高齢者の心地よい居場所

要支援1・2程度までの方に利用して頂いています。8月には「夏祭り」、秋には「秋刀魚まつり」冬には「小さなクリスマス会」などを行いました。

また、おでかけの支援として季節の花を愛でるツアーや外食会、カラオケなどを実施しました。本年も季節の行事などを計画しながら取り組んでいきます。

利用者の動向

オープン以来みんなんちの来訪者は、延べ人員で約880人の方々に利用していただきました。

ふれあい喫茶では、病院などの送迎の時間調整や送迎終了後に立ち寄りをしていただく会員の方も多くなっています。会員外の来訪者では、近くのグランドゴルフで練習をされている人達、散歩途中に立ち寄り会話を楽しまにきて頂く方、週に何回も来てくれる方など、地域の輪が広がりに初めています。

本年度は、季節の行事の開催や地域交流の場所として地域の方々をお誘いしながら『みんなんち』が、地域にとつて必要場所と認知していただくよう、スタッフ一同張り切って運営していきたいとおもいます。



訪問介護

愛・あいⅡこまわり福祉センター

良質なサービスとこまわりのきくサービスをモットーに10年以上のべてらんヘルパーがたくさんいます。ターミナルまで心をこめて介護させていただきます。

— ヘルパー募集中 —

〒271-0064 松戸市上本郷 4189

TEL047-360-6360 FAX047-360-6388

松元ヒロノライフ in松戸



政治や現代社気を風刺するコメディアン
「大笑い」しながらも「ほろっと泣ける」...

日時 平成25年1月26日(土) 19時開演

会場 松戸市民劇場

前売券 大人 2300円 ペア券 3800円

中高生 1300円 (当日プラス200円)

●お申し込み NPO法人子どもとまつど

TEL/FAX 047-344-2272

E-mail npo-mkg@cd.wakwak.com

団体賛助会員スペース

この欄は、ふれあいネットまつどの団体賛助会員の広告・広報スペースです。紙面に掲載を希望される団体を募集しています。賛助会員会費は一口5000円です。

日本財団より福祉車両助成 島田代表より軽自動車寄贈



●車名形式:スズキエブリイ ●全長 3.395m×全幅 1.475
×全高 1.860m ●乗車定員:4名(車椅子搭載時)

事務局だより

新車両2台の愛称を募集

2012年度日本財団福祉車両整備補助成で、福祉車両スズキエブリイが決定(費用総額128万円の内92万円が助成され、残り36万円が自己負担)。自己負担金は記念寄附金(別項参照)より充当されました。同じ12月には、島田喜七代表より軽自動車ダイハツムーブが寄贈されました。この2台を含めてふれあいネットまつど所有車両は5台になります。

新しく仲間に加わった2台について、愛称を募集(1月18日までに事務局へ)。寄せられた中から、1月20日(日)開催の会員新年会で決定します。ふるって応募ください。

ありがとうございました 設立15周年・認定NPO記念寄附金 120人より、584,000円

【ご寄付いただいたみなさま】

島田喜七 佐久間浩子 岡田吉弘 高田貢 田中シヅ 渡辺すみ 三浦政美 高橋かほる 村嶋千鶴子 二宮恵子 前澤尚昭 西村知雄 島田幸枝 鈴木順子 長洞豪 近藤京子 近藤拓司 医療法人社団弥生会 安藤敬久 高橋久美 奥田義人 森田岩三郎 森田トミエ 林義雄 古川順子 渡邊功吉 山中幸久 中良夫 月井利枝 渡辺薫 清水哲男 篠原みつ子 篠原まつ 縫部鐵次郎 見富和男 奈良環 大川収史 古宮清治郎 相場英樹 藤沢信光 小野数子 小野哲也 杉内郁子 和泉秋子 石原順二 浦和しま子 水本仲子 鈴木孝子 鈴木ミキ 末吉敏子 吉田勝美 有路友子 清水健二 戸丸栄子 田中健一 福良登 小笠原明子 柳澤勲 三宅章之 木村紀子 嶋根正善 田村清実 江野島さみ子 小川節子 石戸瑤子 近藤徳矩 有限会社ジェイエム建築企画 馬場悠 西村泰久 倉持登美 小川和子 萩原直大 白井正弘

※匿名等の事情でここに掲載しない方を除きます。
※敬称略・順不同・2012年12月31日現在

●車名:ダイハツムーブ(軽自動車)
●乗車定員:4名



千葉県福祉・介護人材確保対策事業 運転者講習会受講生募集

千葉県福祉・介護人材確保対策事業「福祉介護人材キャリアパス支援事業」補助金の交付を受け、介護輸送(福祉有償運送)運転者講習会を開催します。

【募集要項】

- 取得資格 福祉有償運送運転者資格(介護保険訪問介護等の通院等乗降介助の介護輸送ができます)
- 開催日時 2月23日(土)24日(日)2日間
午前10時〜午後5時
- 開催会場 松戸市小金北市民センター
- 応募資格 ①介護福祉士等の介護資格
②普通自動車免許
①②を持っている方※定員20人
- 応募方法 はホームページをご覧ください。

医療法人社団弥生会

旭神経内科リハビリテーション病院

<http://www.yayoikai.or.jp>

松戸市栗ヶ沢 789-10 TEL047-385-5566

受診・入院等のお問い合わせは相談室までご連絡ください



併設施設:介護老人保健施設/
通所介護/訪問看護/訪問介護/
居宅支援事業所/小金原地区在宅介護支援センター

介護保険工事件数が5,000件を超えました。
この経験により、最適な改修プランや用具・レンタル
用具販売をトータルでご提案致します。

介護住宅リフォームの専門店
福祉用具レンタル・販売

(有)ジェイエム建築企画

本店/〒271-0074 千葉県松戸市緑ヶ丘2-257-2
TEL:047-330-0022 FAX:047-330-0027
柏事務所/〒277-0852 千葉県柏市旭町7-1-10-202
TEL:04-7141-6267 FAX:04-7141-6268

私が育った故郷のお正月

陸前高田市

千田 辰三

(2012年入会)



心の中の故郷

祖母たちが開拓
一人一人が切り開
いた土地にて戦後
の生活も落ち着き
生まれ育った故郷
は岩手県陸前高
田市。海の側で
育ち夏は毎日の
様にアワビにウ
ニや魚とりに夢
中になり楽しみ
遊びまわったも
のです。津波の
経験は何度かあ
るものの、今回
の様な出来事は
生まれて始めて
の大津波。町が
一瞬にして変り
果て、自心の中
に残る懐かしい
町並みが消えて
ひとつ明かりが

消えてしまう様な気持ちに……。それ
でも故郷の思いは忘れる事は出来ない、
幼き子供の頃の田舎のお正月、私達の年
代は皆同じ、広い畑の中で兄弟友達と走
りまわっては自作の凧を寒い北風の吹
く中を揚げて遊び、木の枝を切ってはコ
マを作り回して遊び、テレビのない時代
大人も子供も正月飾りを作っては飾り、
地元神社へ初詣に行き、お餅を食べ、甘酒
をいただき、男の子はやんちゃで女の子
は少しだけおしやまな子と思いきや鼻
水を流しては楽しんだ。故郷田舎を思い
出しては今頃になって自心の中ではど
こか懐かしい様で何処か淋しいすぎた
日々が思い出される。今こんな時代でも
そんな古い良き時をすこす田舎であつ
てほしいと思う。私の心の中に故郷の思
い出を残しておきたい心のページ。

渡辺 薫

(2005年入会)



荒川

羽根つきで遊んだ下町のお正月

冬になると富士見坂からきれいな富
士山がよく見えた。谷中では空がオレン
ジ色に染まるまでよく遊んだ。当時、西
日暮里にはまだ駅はなく、電車を利用す
るには新三河島駅か日暮里駅まで歩い

た。そんな荒川の下町に私は育った。母
は暮れになると、のし餅を何枚も注文し
た。すぐに硬くなる餅を切り分ける作業
は、力が必要で大変だった。新年に向け
て新しい下着やセーターを用意するた
めに、買い物に出かけることも楽しみた
ったことを思い出す。買い物帰りにはい
つも、湯島にある「みつばち」で、あん
みつを食べさせてもらった。その味はず
っと変わらず、今でも上野に外出した時
にはこの店まで足をのばすことにして
いる。

大晦日には、必ず家族で紅白歌合戦を
みては本気！で応援をした。元旦には、
花札や羽根つき、百人一首で時間を過ご
した。生産の歯車がまわる街中も、お正
月だけは静かで羽根をつく音だけが聞
こえた。羽子板は駄菓子屋さんで売って
いた安物で、かわいらしい女の子と男の
子の絵が描かれていた。浅草の知り合い
からいただいた、子ども心にも少し高そ
うに見えた羽子板は、欄間の傍に飾られ
た。門松や日の丸の旗が揚げられた玄關
先に獅子舞が訪れると、気分は一気に高
揚した。その舞う姿が恐ろしくもあり、
珍しくもありで、一緒にくっついて歩きた
かったのだけど母親に止められた。食卓
のお重の中には紅白のなますや、お煮し
め、今のようにこれといった御馳走はな
かったけれど、♪もういくつ寝るとお正
月・・・と本当にお正月を待ち遠しく思う
自分があの頃いた。



東平賀7番地 編集局

腸炎の患者が急増しています、ウイル
スに突然変異が起り、免疫がないた
め感染拡大しているのだと言われて
います。「特効薬」のないウイルスに
どう対策すればいいのか。手洗いなど
して予防するのは当然、周囲への感染
拡大を防ぐことが重要のようです。

◆昨年暮れの、東京ミチテラス 2012
TOKYO HIKARI VISION はあまりの人
気、東京駅はすっかり新名所となりま
した。◆そんな新名所、東京駅に、更
に人気アニメ「機動戦士ガンダム」直
営カフェ「ガンダムカフェ東京駅店」
がオープン、目的を共有できる居場所
がこんな場所にも出現、きつと遠方か
ら多くのファンが集まるのでしう
ね。◆昨年の5月21日は、日本で1
29年ぶりの金環日食でした、そして
翌、5月22日は高さ634mの東京
スカイツリーが開業、その陰に隠れ
て、同日、ふれあいの居場所『みんな
んち』が松戸市東平賀にオープンしま
した。◆いずれにしても人が集まる居
場所が必要です。ふれあいネットまつ
どが地域の一翼になれたらいいと願
う、巳年の年頭です。

(編集局 赤とんぼ)

編集委員募集

会報「えがお」を一緒に作りませんか。
事務局までお問い合わせ下さい。

(電話) 047134612052